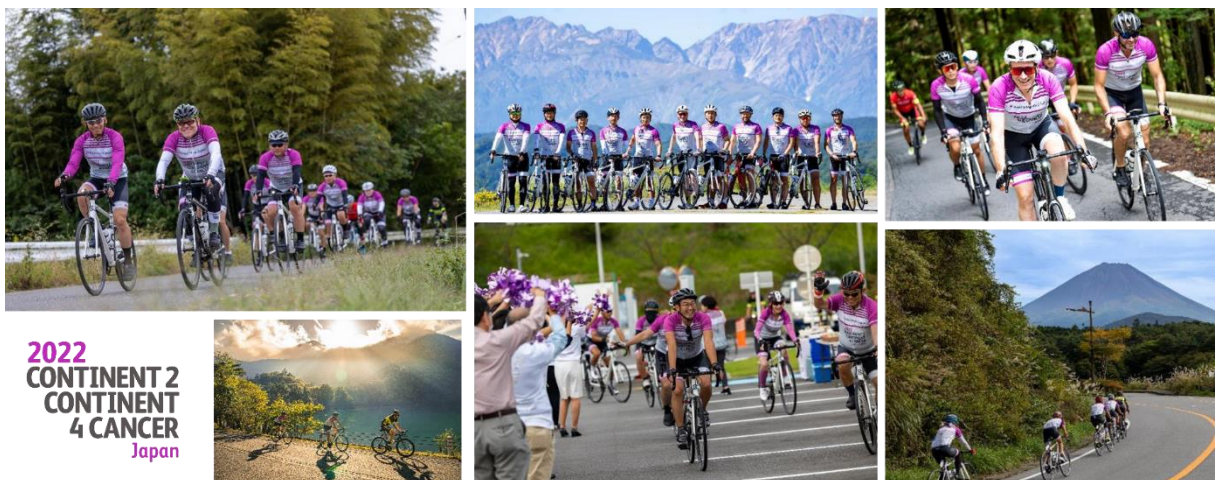


チャリティバイクライドを開催、がん患者さんとご家族の支援を行う認定 NPO 法人がん患者ネットワークジャパンに約 1,800 万円を寄付

ブリistol マイヤーズ スクイブは、今年度のチャリティバイク・ライドイベント「Continent 2 Continent 4 Cancer」(略称 C2C4C)を日本国内で開催、本ライドイベントを通じて集めた募金と会社からの寄付金を合わせた総額約 1,800 万円が、がん患者さんとご家族の支援を行う認定 NPO 法人がん患者ネットワークジャパンに支援金として届けられました。

C2C4C は、がんで亡くなった人や現在闘病中の患者さんを思いながら、世界中の有志の社員が自転車で走行するチャリティ活動です。2014 年に米国で始まり、2016 年には欧州、2021 年には日本、そして今年からラテンアメリカでスタートしました。「Continent 2 Continent 4 Cancer」は「大陸から大陸へ、がんを乗り越えるために」の意味で、日本開催 2 回目となる今年は 9 月 22 日から 10 月 12 までの 21 日間、約 70 名の社員が 7 つのチームに分かれて、険しい山道を含む国内約 2,100 キロの道のりをリレーで走り抜けました。

ライドイベントのほか、6 月から 10 月にかけてキャッチフレーズ“4 million 4 Cancer”を掲げ、400 万円を目標として従業員やその家族などを対象に募金活動を行い、4,682,872 円集まりました。本ライドイベントを通じたがん患者ネットワークジャパンへの支援額は、この募金と会社からの寄付金を合わせて総額約 1,800 万円となります。



2022
CONTINENT 2
CONTINENT 4
CANCER
Japan

がん患者ネットワークジャパンの事務局長を務める木原康太氏は次のように述べています。「ブリistol マイヤーズ スクイブが国内で実施する C2C4C チャリティバイク・ライドイベントのパートナーとして、がん患者ネットワークジャパンが選ばれたことを大変嬉しく思います。ブリistol マイヤーズ スクイブの皆さんが 21 日間のライドに取り組まれる中、当法人にも日に日に多くの声援が寄せられるようになり、今回の C2C4C のライドを通じて支援の輪が広がっていることを実感しています。皆さんの大きな想いを今後、私たちがしっかりと患者さんに届けていきたいと思っております。」

ブリistol・マイヤーズ スクイブ株式会社代表取締役社長のジャン＝クリストフ・バルランは次のように述べています。

「天候も目まぐるしく変わる中、急な登り坂が続く 2,100 キロのコースを、当社社員は 21 日間で走破しました。私もその一人として参加できたことを誇りに思います。参加した社員の多くは家族、同僚、友人など、知り合いの誰かががんに罹患しています。がんは現実のものであり、その手助けをしたいという思いから、

全員が業務としてではなく、自発的に参加しました。このイベントを通じて集まった寄付金のがん研究の支援につながることは嬉しい限りです。これからもがんと闘う患者さんやご家族を応援する活動に幅広く取り組んでいきます。」

ブリストル マイヤーズ スクイブについて

ブリストル マイヤーズ スクイブは、深刻な病気を抱える患者さんを助けるための革新的な医薬品を開発し、提供することを使命とするグローバルバイオフーマ企業です。詳細は、bms.com/jp、[LinkedIn](#)、[Facebook](#)、[YouTube](#)、[Instagram](#)をご覧ください。